

2014 スーパーGT Rd,1 岡山 吉田広樹 ＜岡山国際サーキット＞

今シーズンは SUPER GT シリーズに「OKINAWA IMP・RUN UP」チームから参戦させて頂ける事になりました。マシンは2014年モデルのNISSAN GT-R NISMO GT3 となり、凄く大きなチャンスを頂ける事になります。参戦するGT300クラスは海外メーカーも含め、12車種25台、タイヤメーカーも4社で争われる激しいシリーズとなります。

今年一年 SUPER GT シリーズに参戦していく中で、チームと共に速さや強さを身につけれるよう頑張ります。

4月5日フリー走行 DRY 13番手 / 24台中



開幕戦の舞台は先日合同テストも行われた、岡山国際サーキットとなります。このシリーズは基本的に土曜日の午前中に約2時間の練習走行があり午後からは予選となります。その2時間の間に二人のドライバーでテストを行い、予選に向けてのセッティングやタイヤの選択を行っていかねばなりません。今回は走り始めから私が主にセットアップをさせて頂きました。前回のテストで確認していたセットからこの日のコンディションに合わせて微調整を行っていきます。ある程度バランスがとれて来たところで、田中選手に交代しバランスの確認を行ってもらいました。今回、いいバランスを見つけるまでに時間がかかってしまったため田中選手の走行時間が短くなってしまいました。この部分は今後の自分の課題として、次戦から意識していこうと思います。

公式予選 DRY 13番手 / 24台中



午後になり、公式予選の時間を迎えます。今シーズンのスーパーGTの予選はノックアウト方式ということで15分間のQ1で14番手以下の決勝グリッドが確定します。その後、Q1の上位13台でQ2を行い1~13番のグリッドを確定します。今回はQ1を私がアタックすることになったので、まずは13番手以内に入りQ2に進出する事がひとつの目標となります。予選が始まるとすぐにコースインしていきます。フリー走行のときの感覚で、計測3周目からアタックを行う事を決めていたのでそれまでは入念にタイヤを温めました。アタックの結果1'27.804というタイムを刻み、フリー走行の際の自己ベストを大きく更新することが出来ました。しかし、コンディションの変化の影響も大きかった事から、周りのマシンも大幅にタイムアップしていたため、最終的に13番手というポジションでQ1を終える事となりました。その結果、ぎりぎりではありますがQ2に進出する事ができ、田中選手にQ2をアタックしてもらいました。Q2は時間も10分間と短くなり、田中選手はフリー走行でも全然周回していなかったため難しい状況でのアタックでしたが、アタックの結果13番手というポジションで明日の決勝をスタートする事が確定しました。

4月6日 決勝 DRY-WET 16位/24台中

2014シーズンの幕開けとなる、Rd' 1 岡山がいよいよ開幕を迎えることとなりました。朝から陽は出ていたのですが、小雨が降ったり、霰が降ったりと、とても難しいコンディションが予想されます。そしてレースは私がスタートドライバーを勤めることになったのですが、GTのスタートは2011年以来となります。しかし自分が思っていたより緊張せずに、落ち着いてスタートのときを迎える事が出来ました。通常より1周多いフォーメーションラップを終えて、いよいよ82週の決勝レースがスタートとなります。シグナルがレッドからグリーンになると同時に24台のマシンが一斉に1コーナーになだれ込み



ます。順位をキープのまま1コーナーをクリアしましたが、その後の私のポジション取りが悪く順位を下げて1周目を終えます。そこからはタイヤを温めながら、必死でポジションを取り返そうとしますが、中々うまくいきません。自分たちがハード目のタイヤをチョイスしていたこともあるのですが、数周プッシュしても序盤でのポジションアップが難しかったので、5周目からは切り替えてタイヤを保たせるような走りを意識しました。

途中雨が降り始め、一時はレインタイヤへの交換も考えるほどでしたが、まずはミスなく走ることに集中して周回を重ねます。雨もすぐにあがり、コンディションが戻り始めたところで前車をパス。ひとつポジションを取り戻します。この後はペースを保ちながら走行していたのですが、後ろから追い上げて来たマシンにパスされてしまいました。この辺りからドライバー交代するチームやタイヤがタレて来てペースが落ち始めるマシンが増え始めます。それに比べて私たちはタイムの落ち幅も最小限で周回を重ねる事が出来ました。ピットタイミングもあるのですが、8番手までポジションをあげた45周目にピットインし、田中選手にドライバー交代。給油に時間がかかってしまったのでピットアウト後はポジションを下げてしまいましたが、田中選手がミスなく周回を重ねてくれたおかげで、最終的に16番手でチェッカーを受ける事になりました。

開幕戦を終え振り返ると、予選の走り方や、タイヤに合わせたマシンのセッティング、スタート直後のポジション取りなど、自分の課題は沢山見えてきました。けれども大きなミスなく田中選手にバトンを渡し、完走出来た事で開幕戦としての最低限の目標はクリア出来たと思います。また、新しいマシンをレースウィークを通して大きなトラブルなく整備して頂いたチームにも感謝しています。2日間この舞台で走り、自分たちのポテンシャルや今のチームポジション、今後の目標もハッキリしてきました。今回のレースをしっかり分析し、チーム一丸となって次戦の富士に挑みたいと思います。

昨年このGTという舞台で走れなかった私にチャンスを下さった、田中オーナーやスポンサー様、チームの皆さんに本当に感謝しています。結果で恩返し出来るよう努力しますので、今年一年ご指導、ご支援よろしくお願い致します。

吉田 広樹

SEANW.COM

GEOTECH

HEARTFUL
SALVAGE

Planex
COMM.

Planex
CARS

regalo
株式会社レガロ

悟
つぼ
TAIJI

Racers
Cafe

Arai
Racing Specialties

BRAINS

RIGHTWAY

SANWA
TRADING CO.

FORSET

RIGHTWAY



※スポンサー様一覧は順不同です